

## 2月定例会号

市議会だよりは2月、5月、8月、11月の第2土曜日(定例会号)、1月1日(新年号)に発行します。  
今回は6月定例会号が発行予定です。



## 2月定例会

# 一般会計予算2022億円などを可決

## 市長の施政方針などに各会派から代表質問



令和9年3月完成予定の市川南ポンプ場

市議会は、令和8年2月定例会を2月12日から3月12日まで開催しました。

2月定例会では、初日に田中甲市長が施政方針演説を、次いで高木秀人教育長が教育行政運営方針演説を行いました。続いて令和8年度当初予算案を含む市長提出議案等41件を一括議題とし、これに施政方針、教育行政運営方針を含めて、9会派が代表質問を行いました。また、議員からは、市川市議会会議規則の一部改正について、「市川市議会委員会条例の一部改正について」、「市川市議会政務活動費の交付に関する条例の一部改正について」などの発議案8件が提出されました。その他、23人の議員による一般質問を行いました。

本会議での採決の結果、市長提出議案33件をいずれも原案通り可決・同意した他、諮問4件を異議ない旨答申しました。また、市長からは、「売買契約等調整調停事件の和解等について」等の追加議案4件も提出され、提案に対する質疑の後、市議会はいずれも原案通り可決しました。議員提出議案については、提出された8件のうち、条例案2件、規則案1件、決議案1件を可決、意見書案2件、決議案2件を否決しました。

また、専決処分承認を求める報告1件を承認した他、3件の報告がなされました。(代表質問は275面、一般質問は68面、審議結果一覧は910面に掲載)

### 1月臨時会を開催

市議会は、令和8年1月臨時会を1月19日の1日間、開催しました。1月臨時会では、令和7年度市川市一般会計補正予算(第5号)が提出され、これに対し7会派が質疑を行いました。また、議員からは本補正予算に対する修正動議が提出されました。本会議での採決の結果、議案は原案通り可決され、修正案は否決されました。(審議結果一覧は9面に掲載)

### ◆施政方針(要旨)

市長就任以来、「市民目線」「現場主義」を一貫してきた。市民の皆さんとの「対話」の中で受け取った「市川市をもっと良くしたい」という熱い想いを一つひとつカタチにし、皆さんとともに「より良い市川」をつくり上げることが、行政の役割と果たすべき責任であると考えている。本市の総人口は50万人に到達しようとしている。これは、多くの方々に「住みたい」「住み続けたい」と認められ、選ばれてきた証であり、このまちに関わってきた全ての方々が、まちの安全・安心、子育て環境、教育、高齢者や障がい者施策など、手を取り合って進めてきたまちづくりの成果である。これを飛躍の契機と捉え、国や県と連携しながら、今後も持続可能なまちづくりを進めていく。

日ごろから市川市を愛してくださっている市民の皆さんへの感謝を忘れることなく、あるべき共生社会のあり方を模索しつつ、誰一人取り残さないあたかなまち、市川市の実現を着実に進めていきたい。

### 【主な施策】

- (1) 誰一人取り残さないまち 「妙典親子つどいの広場」の開所日の拡充、「エアコンサポート75」の開始、日本のルールやマナーを理解するためのチラシ配布など
- (2) 持続可能で安心・快適なまち 創エネ・省エネの推進に要する費用の補助、ペットボットの分別収集の開始、防災DXの推進など
- (3) 魅力あふれる元気なまち 「市川駅前ミュージアム」での新たなイベントの開催、誰もがスポーツに親しめる環境の整備、ICHIICOによる行政ポイントの拡充など

### ◆教育行政運営方針(要旨)

施策の推進にあたっては、学校と一体となって取り組むとともに、家庭や地域など様々な関係者との連携や協働を進める。また、総合教育会議を通じて、市長と一層の協議・調整を図りながら、子どもたちの育ちや学びに責任を持ち、市民や若者による社会教育活動や文化財の保存・活用などを進める。

### 【教育行政運営の基本方針】

- ・「令和8年度教育振興重点施策」に基づく具体的な取り組みの推進
- ・「第4期市川市教育振興基本計画」の点検・評価結果等を踏まえた取り組みべき教育行政課題への対応

### 【重要な施策】

- (1) 「中学校卒業まで」学びの連続性の全校展開 「(仮称)言語探究科」新設に向けた準備、小中一貫教育推進のための学校運営協議会の体制整備など
- (2) 誰一人取り残さない学びの保障 外国籍児童生徒等への日本語指導の充実、「サポートルームふれんど市川」の分室の設置など
- (3) 世界につながる市川版英語教育 独自のCAN-DOリストの策定など
- (4) 乳幼児期からはじまる読書環境の充実 図書館の持つ専門性を活かした学校図書館の支援など
- (5) 心も体も健康的な子どもを育む環境整備 放課後保育クラブと放課後子ども教室の連携の検討など
- (6) 人生を豊かにする生涯にわたる学びの基盤づくり 公民館への学習スペースの設置、国指定史跡の整備など

### ◆当初予算

当初予算は、一般会計が対前年度比7.2%増の2022億円、特別会計は3会計を合わせて839億3300万円で同3.9%の増、公営企業会計の下水道事業会計は257億7300万円で同12.8%の増、総額では3119億600万円、同6.7%の増となっています。

# 代表質問

市川市議会では、年4回の各定例会で、会派（結成には3人以上の議員が必要）ごとに市長提出議案等その他市政全般について問う代表質問を行います。2月定例会の代表質問は、市長の施政方針、教育長の教育行政運営方針及び新年度予算を含む市長提出議案等を対象として行いました。質問は総括質問者が行う他、補足質問者を立てることができます。ここでは、各会派が指定した項目の質問・答弁を要約して掲載しました。  
 ※2月定例会の代表質問は2月13日に通告を締め切り、2月20日から4日間の日程で行いました。  
 ※各会派の名称及び所属議員は、代表質問実施時点のものとしています。

## れいわ・無所属・共生の会



門田 直人

〔総括質問者〕  
とくたけ純平

増田 好秀

## 多文化共生

**問** 市長は、施政方針において「多文化共生の名のもとに、日本人の生活が壊されるようなことがあっては

なりません」と示したが、これはヘイトスピーチ解消法の趣旨に反する恐れがあると考える。この点について市の見解を問う。また、これを受け、差別への不安を感じる住民がいる場合、市はその不安を払拭する責任を果たしていくのか。

**答** 当該表現は、外国人住民を特定して生活を壊す存在として位置付けたものではなく、多文化共生を進めるに当たって、国籍を問わ

ず、全市民が安心して生活できる環境づくりが重要との趣旨を述べたものである。住民が不安を感じる状況が生じた場合には、市として適切な対応に努めていく。

**問** 市内のペットショップでは、購入意思がないのに強引に抱っこをさせられたという事例を聞いている。

**答** 市としては、ペットショップにおける販売時の不適切な事例を把握した場合、県に情報提供を行い、必要に応じて県に状況確認を求める等、県と連携して情報共有を図ることとしている。その上、動物がその

命を終えるまで適切に飼養することを飼い始める前に知ることが何より重要であると考えることから、様々な機会を捉えて市民に向けた周知啓発に取り組んでいく。また、国が定めたペット動物販売業者用説明マニュアルでは、ペットの種類や品種のほか、終生飼養や適正飼育の確保や繁殖などについて購入希望者に説明するよう記載されており、このような説明が行われないことが不適切な事例に該当するものと考えている。

## 公明党



西村 敦

〔補足質問者〕  
小山田なおと

川畑いつこ

〔総括質問者〕  
浅野 さち

久保川隆志

〔総括質問者〕  
中村よしお

宮本 均

大場 諭

## 公共施設整備基金

**問** 老朽化が進む公共施設の将来の再整備に備えるための財源として、市は公共施設整備基金を設置し、積み立てを行っている。本基金の積み立ての考え方や目標残高の設定について問う。また、基金の積立額については、今後建て替える施設の数が増える時期を見定めることで、それまでに積み立てるべき額をある程度定めることができると考えるが、市の認識はどうか。

**答** 公共施設整備基金については、整備費用が一般財源を圧迫し、他の必要な事業の実施に影響が及ばないように、財政状況をにらみながら基金の積み立てと取り崩しを行うことを考えている。他方、複数の施設の更新が短期間に集中するのを避け、更新費用のピークを下げることも必要であり、改修による長寿命化や複合化の可能性など、それぞれの施設の事情を勘案して、更新時期をすらすらの調整を行うことも考えている。令和9年度からの第3期個別計画を見直しする際には、更新時期の平準化に留意しながら取り組んでいく。

**問** 市は、令和8年度に県の被災者支援システムを導入予定であり、県内の全市町村で共同導入することで、被災者の生活再建を迅速かつ的確に実施し、自治体間の応援・受援などの連携強化を図ることだが、導入によって市の取り組みはどのように変化するか。

**答** 現行では紙の調査票を用いて被害割合を計算し、罹災証明書を発行しているため、多くの時間と手間を要していたのに対し、新システムではタブレット端末を調査現場に持ち込み、データ入力するだけで、自動計算により被害認定調査結果を判定することができるようになる。また、8年度にシステムを導入する自治体は26団体あり、県内の約9割の自治体に導入される

予定である。県内の全自治体が同一システムを導入することで、災害時の応援・受援体制の強化が図られ、1日も早い復旧・復興に寄与するものと考えている。

## 被災者支援システム

## 小中一貫教育

**問** 教育行政運営方針において「市立学校全体で小中一貫教育を進める必要がある」とあるが、全ての市立学校で小中一貫教育が実現するまでの校舎整備などの具体的な進め方及び建て替えのスケジュールについて、市の見解を問う。

**答** 小中一貫教育を実施する学校の種別は、9年間の義務教育を一つの学校で行う義務教育学校のほか、既存の小中学校の枠組みを残したままで行う小中一貫型小学校・中学校がある。小中一貫教育の実現には、地域と一体となった学校運営も求められ、従来の学校単位での学校運営協議会を中学校ブロックで一つの協議会とし、小中学校が一体的に学校運営を行うことが重

要と考えている。校舎については、小中学校が一体的に設置される施設一体型義務教育学校が理想であり、設置については、学校運営協議会の合意形成を条件とし、義務教育学校の整備に向けた検討を進める考えである。建て替えのスケジュールは原則として、整備方針などの検討を行う準備期間から解体や建設までの合計7年間を予定している。

## 曾谷貝塚の避難場所指定

**問** 曾谷貝塚は公有化率が約8割となり、避難する際の区域及び面積を十分に確保できたことから、令和8年1月30日付で避難場所として指定したとのことだが、曾谷貝塚が避難場所となつたことについて、市民にどのように周知していくのか。また、避難場所と史跡保存を両立させることが重要と思うが、どのように両立しようと考えているのか。

**答** ハザードマップ等に掲載するほか、広報いちかわや市公式ウェブサイト等で周

## 放課後保育クラブ

**問** 令和8年度に放課後保育クラブの指定管理期間が満了することとなる。9年度以降の放課後保育クラブと放課後子ども教室の委託先の検討内容及び今後の進め方について問う。

**答** 8年2月に先進自治体の視察を終え、8年3月まで、放課後保育クラブと放課後子ども教室の一体的運営について、サウンディン



放課後子ども教室での工作の様子



家庭でペットとして飼われている犬と猫

る。本調査を通じ、多様なアイデアを持つ民間事業者、各種法人などから広く意見を求めるところで、事業者からの提案内容も踏まえ、委託先のあり方についての検討を進めていくと考えている。

2月定例会では、9つの会派が代表質問を行いました。代表質問を行った会派の発言順及び発言時間(答弁含む)は次のとおりです。

公明党(180分)、創生市川・自民党(165分)、未来市川(135分)、自由民主の会(120分)、新しい流れ(120分)、いちかわ市民クラブ(105分)、日本共産党(105分)、地域政党チームいちかわ(105分)、れいわ・無所属・共生の会(105分)

※2次元コードから代表質問の動画をYouTubeにてご覧いただけます。ご覧いただけない場合は、恐れ入りますが議会事務局議事課までお問い合わせください(047-712-8673)。

# 代表質問

## 創生市川・自民党

(総括質問者)

稲葉 健二

石原たかゆき

小泉 文人

岩井 清郎

つかこしたかのり

石原みさ子

加藤 武央



## 放課後保育 クラブ

**問** 本市が設置している放課後保育クラブは指定管理者が運営しているが、指定管理期間が令和8年度で満了になるとのことである。9年度以降の運営においては子どもたちに影響がないように進めて欲しいと思うが、本市はどのように考えているのか。また、放課後保育クラブと放課後子ども教室の交流や安全管理について、

9年度以降の運営においては子どもたちに影響がないように進めて欲しいと思うが、本市はどのように考えているのか。また、放課後保育クラブと放課後子ども教室の交流や安全管理について、

## 地域政党チームいちかわ

丸金ゆきこ

富家 薫

野口じゅん



## 学校運営 支援事業

**問** 令和7年度に開始した学校運営支援事業は、クラス数や児童生徒数などに応じて配当する既定予算とは別に、各学校に30万円の予算を配当するものである。現場の判断で学校や地域の特性を生かした取り組みや

教職員の働き方改革に活用することができ、各学校にとって喜ばしい事業と考えるが、これまでの取り組みと今後の展開について問う。  
**答** 本事業に関しては、各学校が希望する内容ごとに教育委員会と協議しながら取り組みを進めている。7年度は、学校や地域の特性を生かした取り組みとして、外部から講師を招いた講演

## 避難所運営と 教職員の協力

**問** 本市では市立小学校全39校が指定避難場所となっており、住民、学校、市職員が連携する小学校区防災拠点協議会が設置されている。発災直後の避難所運営

では市職員が到着するまでの時間をいかに埋めるかが重要な課題だが、教職員からはどのような協力を得る必要があると考えているか。  
**答** 発災時における教職員の第一義的な役割は児童生徒の安全確保等であるが、施設管理者として、避難者への対応などについても可能な限り協力していただくこととしている。授業中に発災した場合には、初動での住民避難の対応が考えられることから、学校の管理職が同協議会に出席した上で避難所の運営方法を把握し、教職員と共有すること、初動での住民避難に対応すると共に、児童生徒の安全確保にも努めていく。

## 市立学校の 安全安心

**問** 令和7年度末時点における、小中学校の校舎内にあるトイレの洋式化率は約72%とのことである。和式トイレが空きがない場合、利用をためらい我慢する子どももいると聞いているが、洋式化を早急に進める考えはあるのか。また、現在は全ての小学校、義務教育学校、特別支援学校の通用門に登下校見守りシステムのカメラを設置しているが、

の組織も子どもたちを最優先に考えており、万が一事故が起きた場合にも、事情を確認した上、保護者に説明する体制を整えている。  
**答** 本市の小中学校のトイレ整備については改修計画に基づき工事を進めており、8年度は5校の整備を予定している。洋式化には様々な手法があるが、リモデリングのような簡易的な修繕は早期の洋式化が可能ならぬ、学校ごとの状況を考慮した上で、適切に進めていく。防犯カメラの設置については、今後、効果的な設置場所等も含めて導入のあり方を検討していく。

## 商店街灯 への補助

**問** 市は商店会が設置する商店街灯の電気料金を対象に補助金を交付しているが、電気料金の高騰により商店会の負担が増えている。本市の商店街灯への補助金額は他市と比べて少ないと感じるが、今後、補助金額を増やしていく考えはあるか。  
**答** 市が電気料金の補助金を交付している45商店会のうち42商店会では、補助上限額を超える電気料金となっており、総額の4割程度の電気料金が商店会の負担となっている。他市も同様の補助金を交付しており、他市と比較して本市が極端に低い状況ではないと考えているが、商店会からの意見も踏まえ現状の把握に努めると共に、補助金額につ

## ペットボトル の拠点回収

**問** 令和8年4月から開始するペットボトルの分別収集については、各集積所に回収ネットを設置して回収する方法と比べ、手間や費用を軽減できる拠点回収を進めて欲しいと考えるが、また、松戸市ではほとんどペットボトルを集団資源回収で回収していることから、本市においても将来的につつ確実な資源化を目指しているが、本市においては、8年4月から開始する公共収集の枠組みの中で、市民の利便性を維持しつつ確実な資源化を目指している。今後は、公共収集におけるペットボトル単独収集の運用を注視し、その実施状況や他市の事例等を踏まえながら、集団資源回収における品目の拡充について検討していく。



避難所開設・運営訓練の様子



左:拠点回収用のネット 右:一般回収用のネット ※写真は一例です

いても検討を進めていく。

間事業者の店頭回収場所の新設、自治会館の空きスペース等を拠点回収場所として活用できないか、関係者と協議を進めている。また、松戸市では、集団資源回収によりペットボトルの約96%を回収しており、本市においても、ペットボトルを有価資源回収の品目に加え、奨励金の対象とすることは、分別の徹底や資源化の推進に一定の効果があると認識しているが、本市においては、8年4月から開始する公共収集の枠組みの中で、市民の利便性を維持しつつ確実な資源化を目指している。今後は、公共収集におけるペットボトル単独収集の運用を注視し、その実施状況や他市の事例等を踏まえながら、集団資源回収における品目の拡充について検討していく。

# 代表質問

## 未来市川



〔総括質問者〕  
 竹内 清海 ほとんどやうな  
 国松ひろき 大久保たかし  
 堀内しんご

## パラスポーツの環境整備

問 施政方針では「スポーツの力は、まさに活力を与えてくれます」との表現がある。令和8年開催のミラノ・コルティナオリンピックでは本市在住の中井亜美選手が私たちの胸を熱くさせた。7年に日本で初めて開催されたデフリンピックは、大きな感動と勇気を与えてくれた。パラスポーツは、競技者自身の健康増進や人との交流を通じた社会参加の創出にもつながるものであり、積極的に推進すべきものと考えますが、

市では障がい者がスポーツを行うための環境をどのように整備していくのか。  
 答 障がいの有無にかかわらず、誰もがスポーツに親しめる環境を更に整備していくためには、全ての人が、触れ合い、支え合い、お互いの理解を深めることが重要である。今後も、パラスポーツの魅力を引き続き発信していくと共に、いちかわスポーツフェスタ等多くの市民が参加できるスポーツイベントにおいて、実際に競技を体験する機会を一層増やしていく。

## 複合施設整備事業

問 信篤図書館、信篤公民館、信篤市民体育館などを一つの建物に集約する複合施設整備基本計画が令和6年度に策定されたとのことである。新しく整備する施設には、ぜひ一工夫あるようなインクルーシブ遊具を設置して、誰もが楽しめる施設にしていきたいと思う。複合施設の整備に関する今後の予定について、また、既存の各施設は、いつ頃まで利用することができるのか。

答 本事業については、8年度に公募を開始し、プロポーザル方式により事業者を選定する予定である。選定事業者との契約締結後、既存建物の解体と新築工事を行い、13年度の完成を目指している。また、既存施設、信篤市民体育館などを一つの建物に集約する複合施設整備基本計画が令和6年度に策定されたとのことである。新しく整備する施設には、ぜひ一工夫あるようなインクルーシブ遊具を設置して、誰もが楽しめる施設にしていきたいと思う。複合施設の整備に関する今後の予定について、また、既存の各施設は、いつ頃まで利用することができるのか。

## 訪問歯科健診

問 本市では、在宅療養者等に対する歯科相談業務や啓発事業などを歯科医師会

に委託して実施している。令和6年度の歯科相談は120件で、そのうちの約40件が訪問歯科診療を希望しており、希望者全員に診療が行われたとのことである。このような診療は今後も継続して欲しいと考えているが、訪問歯科診療は起きた後の対処であることから、大きな問題等を見逃すことにならないか。そこで、在宅療養者等のためにも予防的立ち位置の訪問歯科健診を導入する必要があると考えますが、本市はどのように認識しているのか。



ハートフル障がい者等歯科診療所

きーズや他市の実施状況などを調査していく。

## 自由民主の会



〔補足質問者〕  
 中山 幸紀 加藤 圭一  
 細田 伸一 青山ひろかず

## 外国籍児童生徒の支援

問 教育行政運営方針では、誰一人取り残さない学びの保障として、外国籍児童生徒に対して日本語指導の充実を図るとあるが、支援を充実させた場合、教員の負担は増加し、時間と労力が割かれると考える。そこで、外国籍児童生徒に日本語指導を行う教員の配置及び加配はどのように行うのか。

答 現在、外国籍児童生徒へ日本語指導を行うための日本語指導教室を、小学校9校、中学校4校、義務教育学校1校に設置しており、14人の員費負担教員を配置している。今後、新たに教室を設置する場合、教員の増員が必須となることから、指導が必要な児童生徒数の調査や、本市の人口増に伴う外国籍児童生徒等への支援の実態も踏まえ、引き続き、千葉県教育委員会に、教員の配置を要望していく。

## 本八幡駅北口駅前再開発

問 施政方針では、「本八幡駅北口駅前地区の再開発により、自然と調和した、新たな付加価値の創出に取

り組んでまいります」とあるが、「自然と調和した、新たな付加価値の創出」については、どのようなものをイメージしているのか。  
 答 平成30年に策定した「本八幡駅北口再開発基本構想」において、調和を踏まえた景観を創出する緑のプロムナードの整備や、連続的な緑の配置により潤いある都市空間となるよう方針を定めている。「自然と

調和した、新たな付加価値の創出」とは、その基本構想に定められた方針に基づき、葛飾八幡宮への連続的な緑を創出するため、低層空間への積極的な緑の配置や、植栽豊かな広場等を整備することを考えている。

## 令和8年度当初予算

問 令和8年度当初予算に

ついては、市税収入が過去最高額となる見込みに加え、国や県からの各種交付金があることから、過去最大の予算規模とのことである。そこで、市税等の一般財源収入の増収分については、既存の事業及び市民サービスへ還元していかねばならないと考えるが、8年度当初予算においては、どのように配分したのか。  
 答 市税等の増収分については、

## 日本共産党



〔総括質問者〕  
 清水みな子 やなぎ美智子  
 廣田 徳子

## (仮称)言語探究科の導入

問 教科の新設や大きな変化があるときには、メリット・デメリットを出し合い、関係部署や教員、児童生徒の声を聴きながら進めるべきと考えるが、教育振興大綱具体化パッケージで示された(仮称)言語探究科を導入するに当たり、総合教育会議では、教育委員会からどのような意見があり、どのように取り入れたのか。  
 答 総合教育会議における教育振興大綱具体化パッケージ策定に関する協議では、教育委員会から「児童生徒の



日本語指導教室での様子

# 代表質問

## 新しい流れ



松永 鉄兵  
〔総括質問者〕  
にしむた 勲  
沢田あきひと  
石原よしのり

### 具体化 パッケージ

**問** 市長は、令和7年11月に教育振興大綱の一部として具体化パッケージを策定した。法律や国の通知を踏まれば、市長には大綱を定める権限はあるものの、教育委員会が管理執行する事務への直接的介入につながる具体化パッケージの策定権限はないと考えるが、市の見解を問う。また、他自治体で具体化パッケージを策定している例はあるか。

**答** 国の通知によれば、教育委員会の権限に属する事項であつても教育委員会が妥当と判断すれば大綱に定めることができ、また、主たる記載事項は地方公共団体に委ねられているとされていることから、市長と教育委員会が協議し、具体化パッケージの策定に至ったものである。知る限り、他自治体で具体化パッケージを策定した例はないが、市として策定は適切と判断していることから文部科学省への照会を行っている。

### 公園での 集団礼拝

**問** 令和8年度の施政方針



市川市教育振興大綱具体化パッケージの概要

### 教職員の セクハラ

では、外国人住民に対し、守るべきルールの遵守を实效性のある形で制度化を検討すると示されている。行徳地域では、多くの人が集まって集団礼拝を行っている公園があり、他の市民が近寄りづらいとの意見もあるが、施政方針を踏まえ、公園の利用に関する基準を

**問** 県教育委員会(以下「県教委」という)は、年一回、公立小中学校の児童生徒を対象にセクハラ等の実態調査を行っている。令和6年度の調査では、「セクハラ」と思われる言動を受けたり、見たり、聞いたりした」と回答した児童生徒は70人おり、教職員が特定された件数は19件とのことだが、当該教職員に対して懲戒処分は行われているのか。

**答** 懲戒処分の決定は、当該教職員の任命権者である県教委が行う。市から県教委に報告を行ったが、懲戒処分は行われていない。なお、市では、事実関係を基に管理職が当該教職員に厳正な指導を行っている。

### いちかわ市民クラブ

中町 けい  
つちや正順  
〔総括質問者〕  
石崎ひでゆき



### 生成AIの 活用

**問** 生成AIは、文書作成支援、問い合わせ対応の高度化など、生産性向上に資する一方で、個人情報管理、著作権への配慮等のリスクも内包していると考え

**答** 生成AIについては、令和5年度に導入の検討を行ったが、本格的な導入は見送っており、暫定的に無料版を利用している状況である。利用範囲についても内部情報を利用しない挨拶文やエクセル関数の作成な

### 避難所の 食事

自己肯定感の向上のため、全教科挙げての一層の授業改善を行うこと」等の意見が出された。学習指導要領に定められた事項との整合性や児童生徒に過剰な負担が掛からないようにすることを踏まえ、これらの意見を実装する具体的な取り組みとして、小中一貫した教科の新設を盛り込んだ。

**問** 防災用品の備蓄倉庫にはアルファ化米、クラッカー等が保管されているが、備蓄食料の種類が限られており、栄養の偏りが心配される。被災者にとって食事は大切なものであると考えるが、備蓄食料の種類や温かい食

事を提供することについて、市はどのように考えるのか。

**答** 被災者の心身の健康を維持するためには、避難所における食事の質の確保は非常に重要と考える。各学校には、炊き出し用の大釜を配備し、燃料が確保できれば温かい食事が提供できる体制となっているほか、食品製造業者などと食料品の供給に関する災害時支援協定を締結し、栄養のバランスに配慮した食事を提供できるようにしている。

### eスポーツ

**問** eスポーツは設計次第で、教育等の政策目的に資する手段になり得ると考える。そこで、具体的な展開として、子どもの居場所づくり等に活用することについて、本市の認識を問う。

**答** 本市では、子どもの居場所づくりの取り組みを進めており、令和8年3月に

びあばく妙典COCOにて、子どもを対象としたeスポーツの体験イベントを予定している。そこでは、大画面を使ったゲーム大会等を実施することで、年齢や障がいの有無等に関わらず、参加する全ての子どもたちがゲームを通して交流する中で、考える力や協調性、相手を尊重することの大切さ等を学ぶ機会になると考えている。今後、子どもの居場所づくりや、学びの経験を深めるための活動としてeスポーツを活用することについては、イベントの実績や、子どもたちの声をよく聴きながら、検討していきたいと考えている。



いちかわeスポーツフェスの様子



災害時の炊き出しが期待されるキッチンカー

# 保健・福祉

# 一般質問

2月定例会では、23人の議員が一般質問を行いました。各議員の持ち時間は1人60分(答弁含む)です。ここでは、1人1項目を選び質問・答弁を要約し、分野ごとにまとめて掲載しました。

※2月定例会の一般質問は、2月18日に通告を締め切り、3月6日から5日間の日程で行いました。  
 ※議員氏名の左の会派名は、一般質問実施時点のもので、会派に所属していない議員については氏名のみ掲載しています。  
 ※2次元コードから一般質問の動画をYouTubeにてご覧いただけます。ご覧いただけない場合は、恐れ入りますが議会事務局議事課までお問い合わせください(047-712-8673)。

医療型  
短期入所事業所

## 市内での開設に向け市の取り組みは 専門職による助言体制の構築など



**石原みさ子議員**  
(創生市川・自民党)  
医療型短期入所事業所を市内に開設することは、医療的ケアが必要な人たちの悲願であり、約20年前から毎年、市へ陳情書が提出されている。そこで、市は同事業所の開設に向けてどのように取り組んでいるのか。  
**答** 県内には、病院や介護老人保健施設等でサービスを提供できる医療型短期入所事業所が22カ所ある。令和8年4月に市内では初めて県から同事業所の指定を受けた施設が八幡地域に開設されることになっており、現在、県、市、事業所の三者で協議を重ねている。市は、事業所の開設に向け、専門職による助言体制の構築等の支援を引き続き行う。

# 保健・福祉

若年性認知症

## 家族交流会の開催の現状は 家族交流会を含め支援を検討



**小山田なおと議員**  
(公明党)  
若年性認知症には、就労や子育てなど、高齢者の認知症とは異なる課題があり、当事者だけでなく、配偶者や子どもなどへの支援も極めて重要と考える。そこで、同じ悩みを共有できる家族交流会の開催について、現状と今後の方向性を問う。  
**答** 市では、令和5年度に

者や子どもなどへの支援も極めて重要と考える。そこで、同じ悩みを共有できる家族交流会の開催について、現状と今後の方向性を問う。  
**答** 市では、令和5年度に

子どものインフルエンザ

## 8年度の予防接種費用助成の概要は 不活化ワクチンの接種等に対し助成



**つちや正順議員**  
(いちかわ市民クラブ)  
令和8年度当初予算において、子どものインフルエンザ予防接種に対する費用助成の概要を問う。  
**答** 本助成は、インフルエンザの発病防止や重症化予防を図ることが目的である。対象は、接種日現在で本市に住民登録のある生後6カ月から小学校6年生まで、上限額は、不活化ワクチンが1回当たり1500円、経鼻生ワクチンが3000円、助成対象の接種期間は、8年9月1日から9年1月31日までを予定している。

予防接種の費用助成

## 将来的に安定的な実施は 年度当初から予算を措置していく



**丸金ゆきこ議員**  
(地域政党チームいちかわ)  
本市における子どものインフルエンザ予防接種の費用助成は、恒久的な制度ではなく、状況対応型の施策として行われてきたが、令和8年度の当初予算においては、費用助成に係る経費が計上された。そこで、将来的な費用助成の実施について、市の見解を問う。  
**答** 7年2月定例会において、助成制度の確立を求め、決議が可決されたこと等を踏まえ、8年度からは特殊な状況に対応するのではなく、市民の意見等を聴き、市長が本市の施策として感染症対策の充実を図るため、年度当初から予算を措置し、費用助成を実施していくこととしたものである。

介護保険の生活援助

## 担当者による誤差はないのか 担当者会議で合意形成を図っている



**沢田あきひと議員**  
(新しい流れ)  
国は、一人暮らしの人や同居する家族等が疾病等で家事を行うことが困難な人等を介護保険の生活援助の対象者としている。サービス内容の判断は担当者により誤差が生じると思うが、公平に対処できているのか。  
**答** ケアマネジャーは利用者の自宅を訪問して同居家族の状況等を把握し、ケアプランの原案を作成した上で、利用者やその家族、サービス事業所の担当者が集まる担当者会議において合意形成を図り、サービスを開始している。また、状況が変わった際は、その都度担当者会議を開き内容が見直されるため、利用者も納得していると認識している。

# 道路交通

市道0231号

## 空地を活用し歩行空間の安全確保を 詳細設計で検討 関係部署と調整する



**越川雅史議員**  
市道0231号の春木川沿いの区間には、道路幅員が極めて狭い上に歩道が未整備の部分があり、歩行者の安全性が懸念されている。本道路の拡幅計画を具が地元で説明してから約30年経過しているが、事業は滞っている。そこで、曾谷橋から南側の区間において、安全な歩行空間を確保できないか、道路幅員構成の見直しを含めて詳細設計を検討したいと考えており、関係部署と調整を進める。

の安全性が懸念されている。本道路の拡幅計画を具が地元で説明してから約30年経過しているが、事業は滞っている。そこで、曾谷橋から南側の区間において、安全な歩行空間を確保できないか、道路幅員構成の見直しを含めて詳細設計を検討したいと考えており、関係部署と調整を進める。

駐輪場

## 駐車需要を満たしているか おおむね満たしている



**久保川隆志議員**  
(公明党)  
本市には、定期使用及び一回使用の駐輪場が存在するが、それぞれの駐車需要は満たしているのか。また、用申請結果では駐車需要を満たしているが、一回使用の駐輪場は八幡地区において駐車需要が上回っており、その他の地区は空きがある状況である。また、2段ラックについては重量がある自転車を上段に持ち上げるのが困難となっていることから、今後、自転車を容易に昇降できるものに更新していきたいと考えている。

満たしているが、一回使用の駐輪場は八幡地区において駐車需要が上回っており、その他の地区は空きがある状況である。また、2段ラックについては重量がある自転車を上段に持ち上げるのが困難となっていることから、今後、自転車を容易に昇降できるものに更新していきたいと考えている。

改正道路交通法

## 小中学校生への周知をどう進めるか 文書の配布と交通安全教室を実施



**つかこしたかのり議員**  
(創生市川・自民党)  
令和8年4月1日施行の改正道路交通法では、15歳以下は青切符による取り締り厳格化を小中学校生への周知の対象とはならないが、どのように周知していくのか。  
**答** 小中学校生に対しては、青切符導入や自転車の正しい交通ルールに関する文書を配布すると共に、交通安全教室を実施している。その上で、罰則を強調するのではなく、安全な行動が自然と身につくような指導に努め、家庭、学校、地域、警察が連携した交通安全教育の取り組みを進めていく。

交通安全教室を実施している。その上で、罰則を強調するのではなく、安全な行動が自然と身につくような指導に努め、家庭、学校、地域、警察が連携した交通安全教育の取り組みを進めていく。

信号機の移設

## 県へ働きかけを行う考えは 相談があった際は協力していく



**門田直人議員**  
(れいわ・無所属・共生の会)  
中国分小学校西側の道路は外環道路の開通により交通量が急増し、安全対策として信号機の移設が望まれている。令和8年1月に地元自治会長等と連名で市川警察署に要望書を提出したが、当該要望書の提出を待たず、本市から県へ働きかけを行う考えはあるのか。  
**答** 市川警察署へ確認したところ、現在、必要な調査を行っているとのことであり、当該信号機の移設については、調査結果をもとに千葉県警察本部と連携し、総合的に判断することである。本市としては、道路構造に関する相談等があった際は、できる限り協力していきたいと考えている。

市川警察署へ確認したところ、現在、必要な調査を行っているとのことであり、当該信号機の移設については、調査結果をもとに千葉県警察本部と連携し、総合的に判断することである。本市としては、道路構造に関する相談等があった際は、できる限り協力していきたいと考えている。

行政

百歳の誕生月に贈呈する考えは喜ばれる方法を検討

敬老祝い状



清水みな子議員 (日本共産党) 本市では、百歳を迎えても敬老の日にならなければ祝状も敬老祝金も受け取ることができない。そこで、特別な長寿に敬意を表すために百歳を迎えた誕生月に祝状を贈呈すべきかと考えるが、市の見解を問う。 答 老人福祉法は、9月15日を老人の日と、9月15日から21日までを老人週間と定めている。百歳を迎えた高齢者に対して、国では老人の日の事業として内閣総理大臣から祝状と記念品を、市では老人週間に市長名で祝状と敬老祝金を贈呈している。市としては、健勝を称える大切な機会と考え、より喜ばれる方法となるよう検討していく。

外国人住民 ルールの理解や周知を促す方策は日本語学習の支援等を行う

外国人住民



野口じゅん議員 (地域政党チームいちかわ) 市長は施政方針で外国人住民に対し、守るべきルールの遵守を有効性のある形で制度化を検討と示している。マナーやルールは国籍を問わず全ての住民が等しく遵守すべきだが、市が外国人住民を強調している理由を問う。また、外国人住民に対し、ルールの理解や周知を促す方策としてどのようなものがあるのか。 答 制度化についてはルールを守るために必要で有効かつ効果的な方法がある場合には慎重に検討した上で適切に対応していく。方策としては日本語学習の支援等のほか、外国人コミュニティ内でルール等の情報共有も効果的と考えている。

行政

財政健全化

市民サービスの維持向上との両立は 将来を見据えた財政運営が必要

宮本均議員 (公明党)

市の負債の状況や将来の財政見通しなどについての市民理解を深めていくことが重要であると考えている。財政や税金の使い途について、健全性と市民サービスの両立を両立させるため、維持向上を両立させるため、



市ではどのような財政運営が必要と考えているのか。 答 これらを両立させるためには、財政健全化の取り組みに加え、令和8年度当初予算編成から新たに取り入れた枠配分方式などによる事業の選択と集中を図るなど、バランスの取れた予算配分と将来を見据えた財政運営が必要と考えている。

Arucoの推進

登録者数の増加に向けた取り組みは 今後検討していく

浅野さち議員 (公明党)

健康ポイントArucoを増やすためには、本市らしいポイント付与メニューの作成や他部署との連携で健康寿命の延伸につながるなどの測定場所の拡充が必要と考える。そこで、登録者



登録者数の増加に向けては、新たなポイント付与メニューの作成について、他市の先進事例を調査・研究していくほか、庁内の関係部署との連携や周知も重要と認識している。また、体組成計などの設置場所についても、設置場所の偏りや、利便性を考慮した再配置について検討していく。

アウトイング禁止

条例に規定すべき市の見解は 現条例の基本理念のもと施策を推進

増田好秀議員 (れいわ・無所属・共生の会)

禁止を規定しているが、本市は広く認知されている。本人の意思に反して、第三者が性的指向等を他人に暴露するアウトイングについて、全国41自治体が条例



で禁止を規定しているが、本市は広く認知されている。本人の意思に反して、第三者が性的指向等を他人に暴露するアウトイングについて、全国41自治体が条例

第1庁舎と第2庁舎

窓口の配置について市の見解は 所管部署とも協議し総合的に調整

ほとだゆうな議員 (未来市川)

本市は、第1庁舎にことおも部が、第2庁舎に学校教育部が配置されている。相談内容によっては庁舎を往



復する必要がある。支援が分断される可能性もあると思うが、両庁舎の窓口の配置について市の見解を問う。 答 第1庁舎は市民サービス及び内部事務の管理機能

平和

平和資源

松やにを平和継承する考えは 適切な方法について調査していく

中町けい議員 (いちかわ市民クラブ)

松やには、戦時中に市内で採取されたことから、貴重な平和資源であると考え



える。市立小学校内の採取痕があるクロマツには説明板を設置しているとのことだが、次世代に平和継承するため、民有地等に所在するクロマツに対し、説明板

市民生活

ドッグラン

江戸川河川敷等への整備は 候補地を探す協議などを進めていく

青山ひろかず議員 (自由民主の会)

市内には約2万頭の犬が登録されており、ドッグラン整備の要望があることを認識しているとのことであ



る。そこで、江戸川河川敷や大型施設の屋上等に整備を検討することは困難であると考えているが、整備に向けて、公有地を所管する部署との調整や、民間事業者との協議などを進めていく。

LED照明への交換

どのようなことに取り組んでいるか 交換促進に向け補助制度を実施した

やなぎ美智子議員 (日本共産党)

LED照明は半導体を利用しているため、水銀を一切使用していないことに加え、蛍光灯と比較



して寿命が長く、省エネ性能も高いことが特徴である。LED照明への交換を進めるため、市はどのようなことに取り組んでいるのか。 答 市公式ウェブサイトに

文化

赤レンガ建造物

市民団体の活動 市職員の参加は 引き続き情報共有や意見交換を実施

石原よしのり議員 (新しい流れ)

国府台の旧千葉県血清研究所跡地に建つ赤レンガ建造物については、市民団体が蓄積してきた検



討成果や意見が重要な資料になると考えるが、市民団体の活動やイベントに市職員が参加し、情報収集や意見交換を行う考えはあるか。 答 市民団体のこれまでの取り組みや意見・要望については共有できていると認識している。今後も引き続き、市民団体との情報共有や意見交換を行っていく。

環境

子ども・教育

防災・安全

ペットボトルの再資源化

市は、ペットボトルの分別収集を開始し、再資源化を進めるとのことである。焼却処理する場合と再資源

太田丈之議員

有意性を比較検討すべきでは国の取り組みを注視していく



化する場合の二酸化炭素排出量を計算し、再資源化の有意性を比較検討すべきと考えるが、市の見解を問う。

答 国では、プラスチック製容器包装を含む様々な製

品について、原料調達から製造、消費、廃棄までに排出される、二酸化炭素を含む温室効果ガスの算定ルールの共通化などに取り組んでいる。今後、本市でもこうした取り組みを注視していくと共に、より情報収集を強化し、市民に資源化への協力をしてもらえるような情報発信に努めていく。

放課後保育クラブ

出欠管理等におけるICTの活用は導入の検討を8年度から開始する

大場諭議員

放課後保育クラブの現場では児童の出欠管理等、業務のほぼ全てが紙媒体と手作業であり、支援員に過度



な負担が掛かっている状況である。そこで、支援員が児童の安全確認や育成支援に専念できるよう、ICTを活用する考えはあるのか。

答 令和6年度に検討した結果を踏まえ、導入の検討を8年度から開始する。が、導入には至っていない。ICTの活用により正確で迅速な管理体制を整えることができると共に、その活用によって生まれる職員の時間的な余裕が業務の質の向上等につながるものと考ええることから、現在行っているサウンディング調査の結果を踏まえ、導入の検討を8年度から開始する。

市川市教育振興大綱具体化パッケージ

策定根拠市の誤読では文科科学省の後輩へ確認した

石原たかゆき議員

石原たかゆき議員(創生市川・自民党)具体化パッケージの策定については、令和8年2月定例会で新たな根拠を示されたこともあり、一貫性が



なく、前回の答弁が誤っているのではないかとすら思われる。市は、文科科学省の通知の理屈をすり替えて解釈し、策定根拠にしていくと考える。それは、明らか

な誤読ではないかと思われるが、本市の認識を問う。答 法制度から潜脱していないと考えている。文科科学省からの公式見解ではないが、教育長から文科科学省の後輩へ確認したところ、教育課程の編成自体を市長が行う場合は問題だが、教育委員会が行う場合は、問題ないと言われている。

道の駅いちかわ

災害時の役割は救援物資の集積拠点等として利用

西村敦議員

国交省が選定する「防災道の駅」に道の駅いちかわが選定された理由は、役割と業務継続計画策定の浸水想定区域内にあること、進捗状況について問う。



地域性を考慮して県南部の道の駅が選定されたことなどが考えられるとのことだが、災害時の道の駅いちかわの役割と業務継続計画策定の浸水想定区域内にあること、進捗状況について問う。

答 市は、大規模災害が発生した場合に、道の駅いちかわを自衛隊の活動拠点や救援物資の集積拠点として利用する協定を道路管理者である国との間で締結しており、断水でも使用できる受水槽等も備えている。業務継続計画については、課題を整理し、令和7年度内に策定する予定である。

議会運営委員会の視察

【日程】令和8年1月28日~29日

【視察地及び視察項目】

- ・山形市 (1)やまがた市議会報「みちしるべ」の発行について (2)山形市議会基本条例について
・郡山市 議会広報に関する取り組みについて



郡山市

【主な視察内容】

山形市は、昭和42年に山形市議会報発行規程を制定し、タブロイド判で創刊号を発行した。現在は、表紙には季節感のある全面写真を活用するなど親しみやすさを演出している。また、これまで慣例や申し合わせで行われてきた議会運営のルールを明文化し、市民に対して「議会がどのような理念で運営されているか」を明確に提示することを目的に山形市議会基本条例を制定し、議会の透明性向上、市民参加の促進などの理念を定めている。郡山市は、令和2年に設置された広報広聴委員会が主体となり議会だよりの編集・発行を行っており、ユニバーサルデザインフォント(UDフォント)の採用や専門用語への注釈、点字・音声版の作成など、情報アクセシビリティに配慮しているほか、YouTubeの議会中継に直接アクセスできる2次元コードを掲載している。令和7年の中核市議会報コンクールでは優秀賞を受賞した。

特別委員会の視察

東京外郭環状道路に関連する特別委員会

【日程】令和8年1月20日~21日

【視察地及び視察項目】

- ・指宿市 逆瀬川ポケットパークについて
・鹿児島市 (1)ポケットパーク設置社会実験(やどり木パーク)について (2)「都市計画道路易居草牟田線」城山トンネルの新設に伴う五代友厚誕生地整備について



指宿市

【主な視察内容】

指宿市は、生活の質の向上(道路空間・公園整備)等を目的に都市再生整備計画(指宿駅周辺地区)を策定し、同目的を達成するために導入されたまちなかウォークブル推進事業の基幹事業として、逆瀬川ポケットパークが位置付けられている。逆瀬川ポケットパークは、地域生活基盤施設として「多世代が利用できる憩い・休憩の場」等の役割を果たすために設置された。鹿児島市は、にぎわいとゆとりある都市空間を創出することにより、来街者の様々な消費行動やまちの魅力の気付きにつなげることを目的とした「歩いて楽しめるまちづくり推進事業」の一事業として、鹿児島中央駅から本港区までのエリアで歩行者が立ち寄りたくなる空間を創出する「ポケットパーク整備事業(やどり木パーク)」を実施している。



市議会をしてみませんか

本会議は原則として公開されており、自由に傍聴できます(94席)。会議当日に市役所第1庁舎7階の受付へ直接お越しください。住所・氏名を記入するだけで入場できます。

※傍聴時は、傍聴券の裏面に記載してある注意事項をお守りください。

また、市川市議会では、本会議の様子を「インターネット議会中継(ライブ)」と「YouTube(録画)」で配信しています。市公式ウェブサイトでは定例会の日程や審議結果、会議録などの情報を掲載しています。ぜひご覧ください。

市川市議会 検索



(詳しくはこちら)

議会改革特別委員会

【日程】令和8年1月21日~22日

【視察地及び視察項目】

- ・福島市 議会における事業継続計画(BCP)について
・二本松市 市議会基本条例について



福島市

【主な視察内容】

福島市は、平成26年3月に福島市議会災害対応指針、福島市議会災害対策会議設置要綱、福島市議会議員の災害対応行動マニュアルを福島市議会基本条例と同時に策定し、令和4年6月に新型コロナウイルス感染症など新たな危機事象に対応し、議会機能の維持と早期回復を図ることを目的に災害対応指針等の見直しを図り、議会における機能継続計画を策定するため議会機能継続計画策定特別委員会を設置し、議会機能継続計画を策定している。二本松市は、平成30年に「二本松市議会基本条例制定について」が議会運営委員会の委員会提出議案として提出され、全会一致で可決されたため、同年4月1日に施行されている。条例においては、市長と議会が互いに独立した代表として緊張感を保ちつつ市民福祉の向上に取り組む体制を定めているほか、市長による反問権(議員への逆質問)を認めるなど、論点の明確化を図っている。

1月臨時会 議案等の審議結果一覧

■賛否などが分かれたもの(1月19日採決)

Table with columns for party names (公明党, 創生市川・自民党第1, etc.) and rows for council proposals (議案第39号).

※表の見方 ○:賛成、×:反対 ※議長は表決に加わらないため、「/」と表示しています。

※各会派の名称及び所属議員は、採決時点のものとしています。

※議案等の全文及び全ての議案等の議員別の賛否は市公式ウェブサイトに掲載しています。(右記2次元コード参照)



2月定例会 議案等の審議結果一覧

■賛否などが分かれたもの(2月26日・3月12日採決)

Table with columns for party names and rows for council proposals (発議第35号, 39号, 40号, 41号, 42号).

※表の見方 ○:賛成、×:反対、空欄:採決時に議場にいなかった者、-:地方自治法第117条の規定により議事に参与していない者

※議長は表決に加わらないため、「/」と表示しています。

※各会派の名称及び所属議員は、採決時点のものとしています。

※議案等の全文及び全ての議案等の議員別の賛否は市公式ウェブサイトに掲載しています。(右記2次元コード参照)



市川市議会政務活動費の交付に関する条例及び施行規則を一部改正

令和6年度に実施された行政監査の結果を踏まえ、「一般選挙」や「補欠選挙」により議員が改選された場合等における政務活動費の交付時期に関する規定を見直すほか、所要の改正を行いました。

本条例及び規則は令和8年3月24日に施行されました。

市川市議会委員会条例を一部改正

市川市行政組織条例の改正に伴い健康福祉委員会の所管のうちこども部の名称をこども家庭部に改めました。

また、地方自治法の改正を踏まえ議会に係る手続のオンライン化に関する規定を定めました。

本条例は令和8年3月24日(組織条例に係る部分については令和8年4月1日)に施行されました。

市川市議会会議規則を一部改正

地方自治法の改正を踏まえ議会に係る手続のオンライン化に関する規定を定めました。

また、協議等の場における招集権者を見直し、一般選挙後議長が選挙されるまでには、議会事務局を招集権者に加えるほか、条文の整備を行いました。

本規則は令和8年3月24日に施行されました。

加藤圭一議員による度重なる排外的・差別的言動に対し、猛省を促すとともに、特定の宗教、国籍または民族を理由とする差別的な言動を行わないよう求める決議案を可決

令和8年2月26日、議員から「加藤圭一議員による度重なる排外的・差別的言動に対し、猛省を促すとともに、特定の宗教、国籍または民族を理由とする差別的な言動を行わないよう求める決議案について」が提出されました。

採決の結果、議会は多数をもってこれを可決しました。(詳しくはこちら)



2月定例会 議案等の審議結果一覧

■賛否などが分かれたもの(3月5日採決)

Table with columns for party names (e.g., 公明党, 創生市川・自民党) and rows for various council proposals (e.g., 議案第43号, 50号, 51号, etc.), with '審議結果' (Deliberation Result) in the final column.

■全会一致で可決等されたもの(2月26日・3月5日・3月12日採決)

Table listing council proposals (e.g., 議案第40号, 41号, 42号, etc.) that were unanimously approved, with columns for item names and party affiliations.

Table listing council proposals (e.g., 諮問第4号, 5号, 報告第31号, etc.) that were unanimously approved, with columns for item names and party affiliations.

人事議案

2月定例会には、市長から、教育委員会委員の任命及び固定資産評価審査委員会委員の選任についての議案3件が提出され、議会はこれら3件をいずれも同意しました。

教育委員会委員

山元 幸恵

固定資産評価審査委員会委員

塚田 孝久 芳村 則起

(敬称略)

(審議結果は左表)

※表の見方 ○：賛成、×：反対、空欄：採決時に議場にいなかった者 ※議長は表決に加わらないため、「/」と表示しています。 ※各会派の名称及び所属議員は、採決時点のものとしています。 ※議案等の全文及び全ての議案等の議員別の賛否は市公式ウェブサイトに掲載しています。(右記2次元コード参照)



意見書・決議

2月定例会には、意見書案2件及び決議案3件が提出され、議会は、意見書案2件を否決し、決議案1件を可決、2件を否決しました。

(審議結果は9面)

○令和8年定例会開会予定日○

Table showing the scheduled dates for the 6th, 9th, and 12th regular sessions of the council for the 8th year of Reiwa.

※上記は予定であり、事情により変更される場合があります

Table listing council members by party affiliation (e.g., 公明党, 創生市川・自民党, 地域政党チームいちかわ, etc.) with their names and the number of members (42 total).

※○は会派代表者 ※市議会では会派制をとり議会活動を行っています。会派を結成するには3人以上の議員を要します。(この会派別議員名簿は令和8年4月17日現在のものです。)